

2021年度

# 年末手当 交渉大詰め

2021年11月18日（木）の18時30分から博多支部役員を中心に中央本部激励行動を開催した。博多支部を代表して運行管理分会の佐々木雄史書記長（=写真左側）が、2021年度年末手当に対する組合員の熱い思いと各分会から託された檄布を中央本部に届けた。激励行動終了後、引き続き博多支部・南福岡事務所にて速報体制を整え妥結まで組合員への情報提供を行っていく。

## ～檄文紹介～

年末手当交渉のヤマ場を迎えた本日、中央本部博多支部は、交渉にあたる本部の背中を後押ししようと、現場で汗を流し、必死に頑張っている組合員の熱き想いを届けにきました。

JR九州は、昨年から続くコロナウイルスにより収入が減少する中、経費削減や働き方改革が進みながらも対応し頑張ってきました。コロナウイルスが減少傾向となり緊急事態宣言が解除し、お客さまも徐々にですが増えています。この流れに乗り遅れないよう、すべての組合員がJR九州の安全・安定輸送に努め、収入の確保に向けて、日々の業務に奮闘しています。

私たち組合員は、年末手当に対し、2.5ヶ月がスタートであると聞いています。2.5ヶ月なんて無理だろうと思っている組合員が多く、檄布を書いて頂く際にも書くことに意味なんてあるの？この思いって伝わるの？等を言われながらも書いて頂きました。各分会の組合員も心が痛いです。

昨年の期末手当・今年の夏季手当には、会社からの無利子貸し付けを実施しています。会社から頑張っていると言われてもやっていることは、組合員への借金です。言っていることとやっていることが違いすぎます。

是非ともJR九州労組の意地、そして底力を見せていただき、今後のモチベーションを更に高めていくとともに、要求月数2.5カ月の年末手当の回答を引きだして頂くことを強く要請します。

最後に、中央本部博多支部は、この後、事務所で役員が常駐し、組合員への速報体制を確立します。組合員の頑張りに報いることが出来るよう、本部の更なる奮闘に期待を込めて、激励の言葉とさせていただきます！頑張ってください！



檄文を読み上げる佐々木書記長  
(運行管理分会)



博多支部 集合写真